

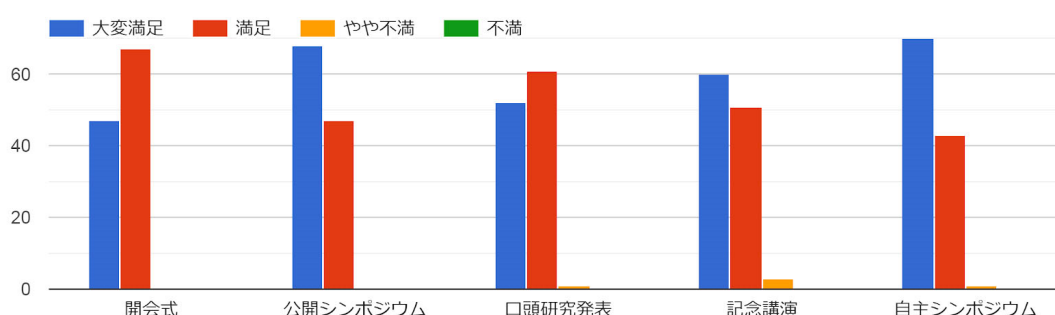
第18回日本教育カウンセリング学会 研究発表大会（秋田大会）

大会参加者アンケートまとめ

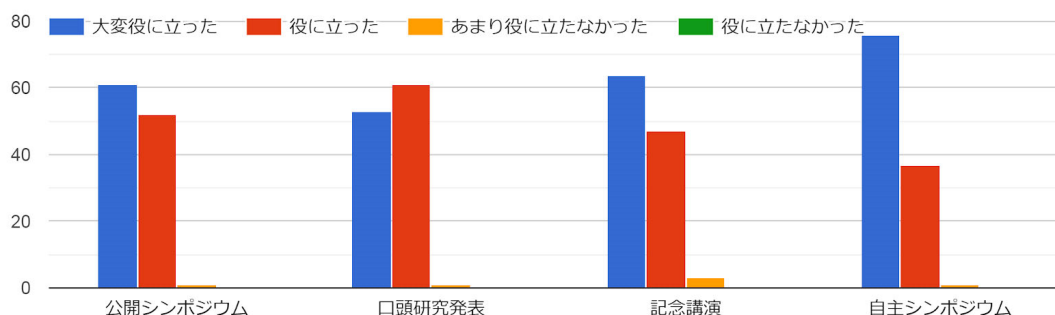
大会開催期間：2021年11月20日(土)・21日(日)
第18回研究発表大会事務局

(回答数：114名)

1. 各プログラムについて、どのくらい満足と感じましたか。



2. 各プログラムについて、どのくらい役に立ったと感じましたか。



3. 印象深かったプログラムについて、ご感想やご意見を具体的にお書きください。

☞ 公開シンポジウムについて ☜

📖 公開シンポジウムで講話を聞いて主体的な学びが出来るよう援助したりすることの大切さを学びました。

📖 公開シンポジウムが印象に残った。真の学力の形成のために以下のこと重要であると再認識しました。

①秋田県は家族と過ごしている時間が長い。②幼小連携がなされている。③学級経営の強み、弱みのデータを分析し、改善点を明確にした取り組みがなされている。④チーム学校が機能している。
大変参考になりました。

- 📖 公開シンポジウムについて。3人の発表から、家庭、幼児期、中学校、適応指導教室どこであっても、秋田の教育はつながっていることを実感しました。真の学力というテーマがじっくりきました。
- 📖 公開シンポジウム：秋田の先生方の教育に対する真摯なお取り組みが伝わってきて、とてもよかったです。一丸となって取り組まれる環境作りが素晴らしいと思いました。ありがとうございました。
- 📖 公開シンポジウム（秋田のあたりまえレベルが高いことを確認できた。）
- 📖 公開シンポジウム。3名の話者提供者の話が深いところで繋がっていると感じた。そこが秋田の学力、真の学力を支えているのだと思った。一生を見通した教育というか、すべての人を幸せにするという理念が強く感じられた。そのために、子どもが主体的に学びに向かう環境を用意し、学校でも、授業でも、家庭でも、地域でも、子どもを見守っていることがわかった。だから、単に授業場面だけで教育方法を真似ても秋田の子どものようにはないのだと思った。結局、誰もが子どもの学ぶ力を引き出すよう繋がっていくことが必要なのだと思いました。勉強になりました。
- 📖 秋田県の学力トップをキーワードに県内で団結して学力維持に努めている実践がとても参考になり納得することができた。50代教員がキーパーソンという実態が印象的だった。
- 📖 公開シンポジウムについては、全国学力テスト NO1 の秋田の教育の秘密がよく分かり勉強になりました。幼保小中の連携や地域ぐるみの指導体制が素晴らしいと思いました。ただ社会に送り出す前の高校の取り組みが聞けなかったのが残念です。
- 📖 公開シンポジウムにおいて、「学ぶ力・人間性」を大事にした学力向上に取り組んでいる秋田県のすごさを感じました。小中学校の取組だけでなく、幼児教育における家庭の関わりなど、本質的な部分を学ぶことができ、とてもよかったです。
- 📖 公開シンポジウムの学力の元となる幼児教育の大切さ。関わり方。家庭での過ごし方など。
- 📖 公開シンポジウム：秋田北中学校の奈良先生の、同僚性が高いというお話に感心しました。どうやって構築されたのかと思いました。また、校内の研修会には全員が揃って、とっていましたが、そこにいる職員で始める、というのは目からうろこでした。
- 📖 不登校適応指導教室の話では、不登校の子どもたちの居場所があり、一人一人の個性に合ったチャンスが与えられ、自分を高めて行く様子が、サポート側の何気ない深い気遣い、指導の賜物にあると感じました。
- 📖 公開シンポジウムでの佐藤さゆ里先生の話者提供の中のさりげない生徒に対する言葉かけや、口頭発表3会場での座長としてのコメントに、解決志向そのもの、相手の持つ力を信じるお気持ちを感じ取り、感嘆しておりました。内容も、運営も、おもてなしのビデオも、大変すばらしく、うれしく、温かい気持ちにもなり、快適な2日間を過ごささせていただきました。本当にありがとうございました。
- 📖 佐藤さゆ里先生の発言の中の、まさに解決志向の相手の力（リソース）を見つけ、信じる気持ちから出てくる言葉に感動！でした。解決志向の思想を目の当たりにできました。
- 📖 公開シンポジウム：不登校適応指導：このような濃い関わり方が学校でできるようになれば、と思いました。不登校生徒の学校復帰について、目指さなくとも良いという雰囲気が多くなっていると思いますが、その辺を聞きたかった。
- 📖 公開シンポジウムでの適応指導教室の取り組みが印象に残りました。河村茂雄先生からの、非認知能力を育てていくことへの挑戦に対する熱いメッセージが心に響き、勇気づけられました。

📖 公開シンポジウムでの河村先生のレスポンスです。不登校だと非認知能力が育ちにくいというお話は確かにその通りだと思います。通信教育でも難しいと思い、やはり人と人が直接関係することの重要性を再認識しました。

📖 公開シンポジウムの河村先生の助言、認知能力と非認知能力の育成が目指すところなのだと認識を新たにしました。

📖 公開シンポジウム 時間は短かったですが、参加者同士で交流する時間があつたので良かったです。

📖 口頭研究発表 📖

📖 口頭発表「構成的グループエンカウターを用いた聖書科授業」 実践がとにかく面白かった。

📖 カリキュラムのない聖書の学習にSGEを取り入れている実践をお聞きし驚きました。学級経営にもっと持って取り入れていきたいと思いました。

📖 口頭発表では、第二会場の深沢和彦先生のご研究に大変興味を持ちました。担任の指導行動タイプを子ども目線で捉えたご研究、参考になりました。日頃漠然と感じていることが、このように研究として科学的に分析されれば、担任の行動変容にもよい影響を与えると感じました。

📖 口頭研究発表第三会場での柳瀬啓史先生の「メンターチーム」のお話が素晴らしかったです。ただ、すべての教育活動は「ひと」によるのだなあとも考えさせられました。教員という「ひと」をどう育てるのかも知りたいところです。

📖 口頭研究発表 第四会場 カウンセリング・サポート
対人支援に活かすアドラー心理学の勇気づけ、共同体感覚等々、もっと学んでいきたいなと思いました。

📖 口頭研究発表は時間が決まっていて 対面の大会では移動する時間が足りなくなることがありましたが、今回はオンラインのため聴きたい発表がすぐに聴けたことがとても良かったです。

📖 口頭研究発表の時間がしっかり確保され丁寧に発表されていたので、内容がよくわかりました。

📖 どれも大変良かったです。特に口頭研究発表が大変充実していて、どの発表を聞こうか迷いましたが、どのご発表も学びの多いものでした。ありがとうございました。

📖 口頭研究発表での進行の先生の運営・ご配慮が素晴らしかったと思います。

📖 口頭研究発表について。残念ながら所用のために欠席せざるを得ない方もいらっしゃったが、動画配信後、参加者から感想がどんどんつながる様子が見られました。研究発表に取り組まれた方への敬意が感じられ、非常に感激しました。積極的に気持ちを言葉にし発信してくださった先生方、一緒に時間を作り上げてくださり、本当にありがとうございました。

📖 記念講演 📖

📖 記念講演：具体的でわかりやすい話になっていた。インプットとアウトプットのバランスが大事。動画で拝見した授業でOKJの授を立体化できた。

📖 2日目の記念講演のOKJのコアや教えて考えさせる方略指導が印象深く残りました。

📖 記念講演 市川伸一先生の「学習方略」の視点が大変勉強になりました。「教えて考えさせる授業」、まさに今求められている「真の学力」につながる授業実践だと感銘を受けました。どうもありがとうございました。

- 📖 「学ぶ力」には、いろいろな経験がその基盤を作ると市川先生の言葉の中にあったこと、その一つ、授業は「要」、**「授業を使って学ぶ」**ことの原点にいる私たちプロの神髄を改めて確認させていただきました。さらに、「生きる力」の基礎は、幼児期に育まれるという**「幼児教育」**の重要性が、この研修を振り返った時、まさにテーマに沿った内容であったことに、感動を頂き感謝しています。
- 📖 市川伸一先生の話 具体的な授業のビデオを拝見して、イメージが湧きました。
- 📖 記念講演（教えて考えさせる授業の具体的なイメージができた。）
- 📖 市川先生の講演については若い数学の先生に紹介したいと思いました。感謝です。
- 📖 記念講演は小学校の取り組みが良く分かりました。高校でも応用できそうに感じました。
- 📖 市川伸一先生のご講演。ご著書は拝読していて、共感していましたが、今回授業風景もあり、具体的に分かりました。本校の取り組みに生かしていきたいです。
- 📖・市川伸一先生の講演 まさに真の学力に結び付く授業であり、学びの姿勢だと感じた。まさに、もっと早く話を聞きたかった。佐藤健吉先生のお言葉に共感しました！
- 📖 大会の準備・運営、本当にお疲れさまでした。
昨年度、中止になり、引き続いてオンラインでの開催となり、今までの大会以上に準備が継続され、大変な毎日であったと思います。
しかしながら、本当に良い学びの場をいただき、うれしく思っております。
特に自分といたしましては、市川伸一先生のお話、お礼のあいさつをされた佐藤健吉先生とまさに同じ気持ちになりました。もっと早く聞きたかった！

📖 自主シンポジウム 📖

- 📖 非認知能力を高める対話授業では新しい研究の視点が開かれました。
- 📖 自主シンポジウム、ブレイクアウトルームで様々な立場で児童・生徒・学生と関わって参加者同士、思いの共有や、地域や子どもの年齢の違いによる「ICTや1人1台端末に対するとらえ方の違い」を知ることができてよかったです。
- 📖 自主シンポジウムで進行者以外で全体把握をしてくださる方がいてくださり（第1会場の大友秀人先生）安心感がありました。
- 📖 自主シンポジウム第二会場 BOR（ブレイクアウトルーム）と全体討議で交流ができたこと。その際ビデオ管理が事務局でされており、運営がスムーズだったこと。
- 📖 自主シンポジウム「ホワイトボードでできる解決思考のチーム会議」
実践例がすばらしく、現場で役立てることができる。保護者対応や生徒個人にも使えることが分かり、大変参考になった。
- 📖 自主シンポジウム：SFA（解決志向アプローチ）チーム会議に参加しました。ケース会議に SFA というのは考えてもいませんでした。こういう迫り方もあるんだと初めて知りました。時間を限ること、少ない人数でも始めること、発言を視覚化すること、保護者や生徒も参加することがある、など驚きでした。
- 📖 自主シンポジウム第二会場。ホワイトボードは常々自己流で活用しているのですが、その良さが再確認できました。佐藤節子先生のご著書を拝読して、ちゃんと学びたいと思いました。また、発表された取り組みも素晴らしく、共感するところが多々ありました。保護者や本人を中心にするということや、大事なリソースであると捉えることはやはり大事だということが改めて認識でき、勇気づけられました。

- 📖 ホワイトボードでできるチーム支援を進める上で大切なしなければならないことを学ぶことができました。
- 📖 自主シンポジウム（ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議・第二会場は働き方改革の今だからこそ取り組むべきことが明確にされた感じがした。是非すぐにでも取り組んでみたい。）
- 📖 「ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議」は、「チーム学校」を築いていくために大変有効な手段であると再確認することができました。報告された事例は、少人数での活用、機密事項にも配慮した zoom での活用も含めて大変参考になりました。また、今回参加された佐藤節子さん・山形県教育カウンセラー協会が出された（2021.2月 図書文化）の『ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議 未来につながる教育相談』がよい参考図書だと思います。それと合わせて、ホワイトボードミーティングの理論的支柱を求めていくのに私は、山村正治・中田行重編著の『新しい事例検討法 PCAGIP（ピカジップ）入門—パーソン・センタード・アプローチの視点から』（2012.1月 創元社）が参考になると思います。
- ※ PCAGIP（ピカジップ）法の開発者でもある村山正治の定義。「PCAGIP 法とは、事例提供者が簡単な事例資料を提供し、ファシリテーターと参加者が安全な雰囲気の中で、その相互作用を通じて参加者の力を最大限に引き出し、参加者の知恵と経験から、事例提供者に役立つ新しい取り組みの方向や具体策のヒントを見出していくプロセスを共にするグループ体験である。」としている。なお、「PCAGIP」の前半の3文字の「PCA」はパーソン・センタード・アプローチ（Person-Centered-Approach）を、「G」はグループ（group）を、「IP」はインシデント・プロセス（incident process）を表している。
- 📖 自主シンポジウム第二会場 ホワイトボードチーム会議
私は、山形県でホワイトボードチーム会議を以前より実施しています。この研修会で今までの振り返りができてとてもよかったです。さらに、立場が違くと実施に持つて行くまでの道筋もかわってくるので、県 SC として各学校の担当者の方々と共有していく作戦を練っていき、行動に移していきたいと思っています。それには、荻間澤勇人先生の話の中にもあった、goodcycle になるような、人間関係づくりから大事にしていきたいです。
- 📖 自主シンポジウム「ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議」は、これから取り入れていきたい。たくさんアドバイスをありがとうございました。
公開シンポジウム、記念講演、自主シンポジウム第二会場に大変感銘を受けました。子どもの学力の形成の基盤となる関係性を育てるカウンセリング活動を具体的に示唆していただきました。子供たちの発達課題と同じく 60 歳代の発達課題に基づき、できる場がかかわっていきこうと勇気をいただきました。秋田大会実行委員会の皆様、提供してくださった皆様方、大変ありがとうございました。
- 📖 自主シンポジウム（第三会場）：シンポジストの皆様のご発表や様々な皆様のお話をお聞きしてアフターコロナの時代に必要な人間関係づくりの大切さを再認識するとともに養護教諭は、日々子供たちと向き合っていて子供たちの学力や生きる力を支援していく役割を担っていることを学ばせていただきました。ぜひ今日の学びを今後の自分の実践に反映させたいと思いました。ありがとうございました。
- 📖 自主シンポ第三会場について。画面越しの先生方の目元の共通点は、あたたかくて優しかったこと！癒されました。非言語は、これまでの生き方が現れるもの。ずっと素晴らしい養護教諭の先生方でいらっしゃったことがたっぷり伝わってきました。どうぞ今後も素晴らしい研究と実践が積み重ねられますよう、秋田より祈っております。
- 📖 私は、自主シンポジウムの第三会場でお世話になりました。
会場へはお越しになれなかったでしょう懐かしい方にもお目にかかれました。
対面が何よりと思っておりましたが、こうした利点もありました。
- 📖 自主シンポジウム第四会場 先生方の実践の発表がとてもすばらしかったです。元気をもらいました。
- 📖 自主シンポジウムでのブレイクアウトルームは意見交流が図られ、とてもよかったです。

📖 公開シンポジウムの中のグループ討議が非常に有意義でした。先生方と思考を共有できてとても勉強になりました。

📖 自主シンポジウム。発表を聞いて質問だけでなく、皆でシェアリングができた。とてもホッとしました。

📖 自主シンポジウムが、参加意義を深めてくれました。最初入室した会場は少し私の関心と違うなと思い、途中から第4会場に移り正解でした。発表者の方々の、落ち着いてわかりやすい口調、伝わったあたたかな実践と、客観的に洞察する理性的な視点とで、限られた時間がとても有意義で満足しました。良質な知の触れ合い、今後の参考になりました。

一点だけ残念だったのは、自主シンポジウムのブレイクアウトルームが10分しかなく、自己紹介と発表への感想など、とても中途半端な時間配分だったと思います。時間がすぐなくなるので、皆さん、自分の時に時間を使いすぎないように遠慮して、結果、良い話し合い時間とは、なり切れませんでした。ところが、終わって最後のまとめに時間が余られたような印象で、最初から「参加者を大切に作る」意味でも、セッションは15～20分あれば良かったのに…、と残念でした。

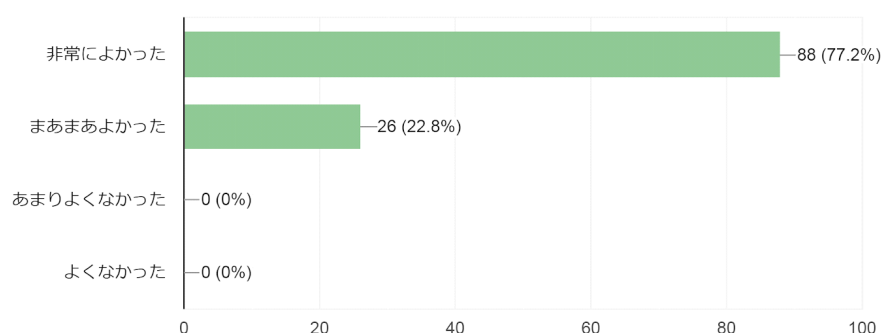
📖 自主シンポジウム わずかな時間でしたが、日本全国の実践例を知り、多くの先生方の考えや志に触れることができ、元気をもらいました。また、オンライン開催でありながら、秋田県の教育カウンセラー協会のスタッフのおもてなしにも感動しました。ありがとうございました。

📖 参加した全てのプログラムで学ぶことがとても多く、有意義でした。全国規模の交流ができることが、やはり全国大会の良さだと思います。

オンラインではありますが、ブレイクアウトルームで、少人数でのディスカッションができたことで、情報交換ができ、新たな気づきが生まれました。やはり、インプットとアウトプットの両方が学習の深化のためには必要なのだと思いました。

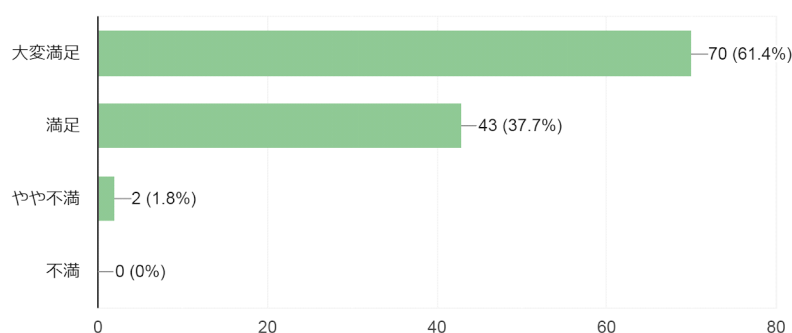
4. 研究発表大会の運営（オンラインでの開催、進行、接遇など）は、いかがでしたか。

114件の回答



5. 全体として、研究発表大会に参加して満足しましたか。

114件の回答



6. この度の研究発表大会について、ご意見やご希望などございましたらお書きください。

- ZOOM だったので、遠隔地でも参加できてよかったです。運営もとてもスムーズでよかったですと思います。有難うございました。
- オンラインでもちゃんと会が成り立つということ、もしかしたら遠くには出にくいという状況の方にはむしろ参加しやすい（私もそうです。）ということを感じました。おもてなし動画もとても素敵でした。温かい気持ちになりました。運営は本当に大変であったと思います。本当にありがとうございました。
- オンラインによる開催のため、移動時間にとらわれずに参加できよかったです。ありがとうございました。
- オンラインは、時間的・経済的に無駄がなく大変よい。例えば、口頭発表では、会場移動がなく人数制限も受けない。教室管理もいらない。参加したい題目についてスムーズに移動できる。また、リラックスして視聴できるので、心身の疲れも少ない。学術交流を目的とするならば、オンラインが絶対的に良い。人的交流の意義は、もちろん大切であり、違う形で計画されないか考えていました。
大会実行委員会のみな様の準備がすばらしく、気持ちよく参加させていただきました。ありがとうございました。
- 10年以上前に教育カウンセリング学会に入会しましたが、はじめて研究発表大会に参加することができました。まだまだ現場は多忙感に満ち溢れ、時間に追われています。オンライン大会だからこそ、参加できました。もちろん、対面のほうが良いとは思いますが、今後はオンラインと同時並行で研究発表大会をしてくださると幸いです。
- ・今後の研究発表大会として、オンラインといった選択肢はぜひ残して欲しいです。
・他の会場の発表も魅力的な物が多く、予算が許せばオンデマンド配信の検討ください。
- 公開シンポジウムで、フロアからの質疑の時間をもっと確保してほしい。
- ZOOM での大会であるのに、入室がスムーズで驚きました。スタッフの皆様の技術、ご配慮に敬服です。ZOOM での口頭研究発表 20 分は論文は拝見しているのですが、対面と違って、慌ただしい感じがいたしました。質問等、時間を仕切る座長の先生、スタッフの力量に感動です。自主シンポジウムはブレイクアウトルームでの発言の仕方に、エンカウンターを経験されていない先生もいらして、自主的にとはいかず、かといって仕切られるのも嫌だという先生もおられるので、ある程度ご提示いただけただ方がやりやすいと感じました。
二日間、大変お世話になりました。有難うございます。
- 大会が実施できたことは、大変よかったですと思います。ここまで、コロナ禍で苦勞して作り上げてくださった実行委員の皆様に、感謝申し上げます。やはり、オンラインだと、誰が参加しているかもよく分からず、偶然の発見はないなあという気がします。現状では仕方ありません。その中ではよかったですと思います。
- ・開会式、公開シンポジウムと記念講演については講演者の許可を得て 1 週間ほど視聴できるオンデマンドにさせていただけるとありがたいです。急な病院受診や、自宅での視聴中も幼児の相手のために一部聞けなかった部分があり、そこが残念でした。
・ブレイクアウトルームは自己紹介に時間がかかるため、時間を長めに設定していただけるとありがたいです（自主シンポジウム）。
- 秋田支部の方々のたくさんのご努力あって、この大会が開催できたと思います。本当にありがとうございました。
公開シンポジウムの時のブレイクアウトルームでは、一人の方しかミュートをはずし、ビデオをオンにしてもらえず、二人で話していました。他の方は画面にはお名前がりましたが、声も顔も出してくださらなかったもので、とても話しにくかったです。ブレイクアウトルームについて資料は送られてきてはいましたが、ルームに入る前に、活動の目的を確認して、ディスカッションへの参加を促していただきたかったです。

- 今回発表でした。最初の HP の申し込み、mp4 ファイル送付時に重すぎて送れない（結局、ドライブで送った）などで戸惑いました。ただ実行委員会には素早く対応していただきました。録画配信はメリットとデメリットがあると思いました。メリットは時間どおりに進むこと、発表者の緊張が少ないこと、発表者が欠席の場合も発表できること。デメリットは、発表者が欠席でびっくりしたこと、発表後の質問が出づらく討議が深まらない感じがしました。ライブ配信の自主シンポジウムはやはりリアル感があり討議が盛り上がる感じがしました。各会場の司会や配信はスムーズで、ホストの方は練習したのだと思います。お疲れ様でした。福島では対面でお会いできますように。
- 口頭発表させていただきました。はじめての事前録画ということで、色々とお教えいただき有難うございました。阿部先生におかれましては辛抱強くご指導いただきました。感謝しております。また丁寧なご案内有難うございました。
- Zoom での口頭発表だったので、コロナ禍でも発表者の先生方にお会いできる気がして楽しみにしていました。残念ながら欠席された先生方はきっと、時期的なお仕事などで泣く泣くの欠席だったのかな、と思います。深い思いと時間をかけ育ててきた研究です。きっと直接質疑応答をしたかったであろうと感じています。けれど、私の参加した会場では、丁寧に感想が語られていました。さすが教育カウンセリングを学んでいる方たち！こんな時間を共有できたことも学びだったと振り返っています。今年欠席せざるを得なかった先生方、来年は参加できますように！
- 1 日目の午前の部が終わった時、秋田県の方のメッセージ後、PR 動画が流れました。予想以上に長く、この後午後の連絡はあるのだろうかと不安になりました。昼食の時間も限られているので、午後の連絡後に流すもしくは「〇分程度流れます」などのアナウンスがあるとよかったですと感じました。
一斉に集まるものとは違ったご苦労があったと思います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。
毎年、学会に参加しこのときにしか会えない会員と話すこと、そして観光をするということを楽しみにしていたので、来年の福島を楽しみにしています。
- お世話になり誠にありがとうございました。自主シンポジウムの機会を与えていただき、多くの先生にご教示いただくことができました。ご準備の事務局の方の細やかな対応に助けられました。お忙しい中、皆様に感謝しかありません。
- 学びの多い研究発表大会でした。特に 2 日目の自主シンポジウムでは自分の職務への励ましとあるべき姿（方向性への示唆）をいただきました。ありがとうございました。日本カウンセリング学会事務局、並びに秋田県教育カウンセラー協会の皆様には、この学会を開催するにあたり、多大なるご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。特に、秋田の先生方には、地域色あふれる細やかな「おもてなし」をいただきましたこと、身に沁みました。あたたかい気持ちで、学ばせていただきました。本当にありがとうございました。対面が可能な学会でしたら、是非秋田にお伺いしたいと思いました。皆様のご発展を心からお祈りいたします。
- 昨年度中止前からの準備、オンラインに変更しての準備、多くの時間と違う事柄の準備に大変な労力を使っていたと思います。本当にありがとうございました。
- 秋田の皆さまのお出迎えに感謝です。また、ご参加されているメンバーも心を大切にされている皆さまなので、研鑽の中にも温かさが残りました。ありがとうございました。
- 最近出席した学会の中で一番良かったです。楽しく学ぶことができました。
- オンライン開催なのに温かい交流を感じる学会のすばらしさを感じます。これ自体、すでに学びの本質、と嬉しい気持ちでいっぱいです。
初めてのオンライン開催の成功、本当にお疲れさまでした！ゆっくりお休みくださいね！
- 初のオンライン開催という未知の領域に果敢に挑戦された秋田県教育カウンセラー協会の皆様、大変お疲れ様でした。緊張もありましたが、スムーズに大会が進行し、参加して良かったと感じました。ありがとうございました。オンラインでお土産も買いましたが、秋田には別の機会に遊びに行きたいと思います。

- ㊦ 画面越しではあっても、いつも大会等でお会いする先生方とふれあうことができとても嬉しかったです。長い時間と手間をかけて、ここまで準備してくださった秋田の先生方に心から感謝します。おかげさまで、また明日から頑張ろうという勇気と元気をいただきました。本当にありがとうございました。(秋田の先生方のなまはげの VTR, 温かい雰囲気癒やされました。ストレッチもよかったです。リラックスできました。)
- ㊦ 前例のない大会運営に関わった秋田の教育カウンセラーの皆様のご苦勞を思うと、どんなお礼をしたらよいのかと思うくらい、感謝の気持ちしかありません。大会の内容も良かったです。私は荻間澤勇人先生、阿部千春先生を始め、教育カウンセラー協会の方々の努力と運営のノウハウこそが、何よりの学びではなかったかと思えます。ネバーギブアップと制限された中でのおもてなしの心を受け取りました。心に残る大会でした。ありがとうございました。
- ㊦ オンライン研究発表大会のモデルとなるような素晴らしい運営であったと思います。何よりも技術面だけでなく、チームワークの素晴らしさを感じました。ご準備段階からご苦勞されることも多々あったかと思いますが、お陰様で研究を発表する機会を頂くことができました。また、大学の入試業務と重なっていたため全てに参加することはできなかったのですが、今後のつながる示唆も頂くことができました。本当に有難うございました。
- ㊦ 長年の積み重ねの成果が感じられてよかった。チームワークの良さが感じられ、温かい雰囲気の中で学ぶことができました。
- ㊦ 秋田大会の皆様の”ウェルカム パフォーマンス”は大変心が温かくなり、こういった地方色の印象付けは大変参考になりました。
- ㊦ オンライン初の研究発表大会であったがとてもスムーズで、入室も簡易で安心して参加することができた。秋田県の個性を生かしたおもてなし有難うございました。これまでのご準備大変なことだったと思います。本当にありがとうございました。来年福島も参加したいと思えます。
- ㊦ 準備した大会の中止、計画の変更などを乗り越えて、秋田支部らしい温かい学びの場を提供くださったことに感謝いたします。秋田のみなさんとも次回の福島大会でお会いしたいと思えます。ありがとうございました。
- ㊦ zoom での実施のため、移動や宿泊を心配することなく参加できよかったです。来年は福島なので比較的近い場所なのでよいのですが、遠い場合 zoom を使った参加方法もあるとうれしいなどは感じています。
- ㊦ オンラインは交通費もかからず参加しやすいですが、来年こそ対面で皆様とお会いしたいです。
- ㊦ オンラインでこれだけ充実したクオリティの高い大会を開催され、秋田スタッフの皆さんのお力に感服いたします。荻間澤先生がおっしゃっておられましたが、3年のご準備とのこと。長い間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。来年の福島大会も楽しみです。

———— アンケートにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。
紙面の都合上、全ての皆様のご感想を掲載できないことをご了承願います。
たくさんの貴重なご意見や温かいお言葉をいただき、感謝申し上げます。

